

Autoboy
JET

Canon



使用説明書

J

日本語版

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

オートボーイジェットは、離れているものを大きく捕える高倍率（3倍）電動ズームレンズと、ズームレンズの動きにあわせて光量を自動的に調整する大光量キャップインオートズームストロボ、そして離れた所でもはっきりとピントが合う高性能オートフォーカス機構を備えた、キヤノンの新しいアイデアによる全自動のニューコンセプトカメラです。

新しい形に巧みに組み込まれた数々の高機能で、今までにない新しい写真の世界をお楽しみください。

●オートボーイジェットの特長

1. 高画質大口径の電動3倍ズームレンズ（35 mm - 105 mm F 2.8 - F 6.6）
2. ズームレンズの動きに同調する大光量（GNo. 12~25）のキャップインオートズームストロボ
3. 遠距離までピントが合う高精度アクティブ AI-AF
4. どこからでもリモコン撮影できる、水平方向に360°回転するリモコン受信部

5. 撮影状況によって自由に選べる、アイレベルとローアングルの2つのファインダー
6. フィルム装填の煩わしさをなくしたドロップインフィルム装填機構による完全自動フィルム給送
7. メッセージ/デート機能

●使用説明書の構成

この使用説明書は、大見出しを付けて機能や操作の説明を使用目的別に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順にお読みください。

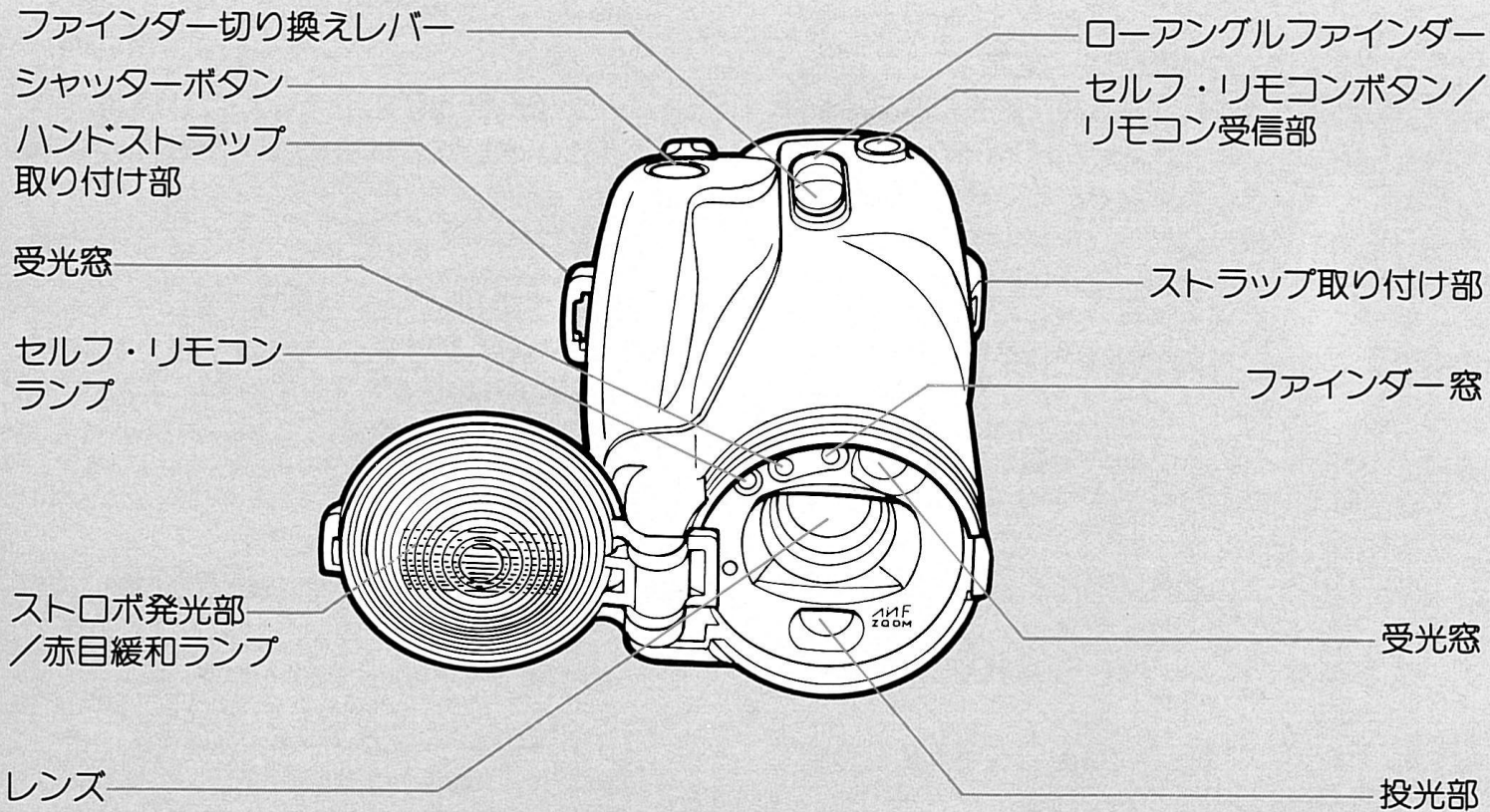
●使用説明書の利用方法

表紙と裏表紙の各部の名称を図のように開いてご覧ください。



・本文中の(→■頁)は参照頁を示しています。

各部の名称



もくじ

カメラの準備をします

1. ハンドストラップを付けます……………5
2. 電池を入れます……………7
 - ・電池のチェック……………9
3. 視度を調整します……………11
4. 表示パネルについて……………12

カメラ操作の練習をします

1. カメラの正しい構え方……………13
 - ・ローアングルファインダー……………14
2. シャッターボタンを押してみます……………15
3. 被写体を大きく～小さくしてみます……………16
4. フィルムを入れます……………18

全自動撮影で簡単な撮影をします

1. メインスイッチを入れます……………20
2. 撮影します……………21
 - ・表示ランプについて……………23
3. セルフタイマー撮影……………25
4. フィルムを取り出します……………27

カメラの機能を使いこなすために

1. 撮影モードを設定します……………28
 - 1) ストロボ OFF モード撮影 ……29

2) ストロボ ON モード撮影 ……30

3) スローシンクロモード撮影……………31

2. 連続写真を撮るには……………33
3. 一定倍率で写真を撮るには……………34
4. 雄大な風景をシャープに撮影するには……………36

日付やメッセージを入れて撮る

1. 日付/時刻のセットと写し込み……………37
2. メッセージを写し込む……………39

アクセサリーを使って

1. 離れた所からシャッターを切る……………41
 - ・リモコン撮影……………41
 - ・リモコンの電池交換……………45
2. 草花などを大きく撮る……………46
 - ・クローズアップ撮影……………46
3. ソフトケースに入れる……………49

いつもカメラを正常に保つために

1. カメラを修理に出す前に……………50
2. 取り扱い上のご注意……………52

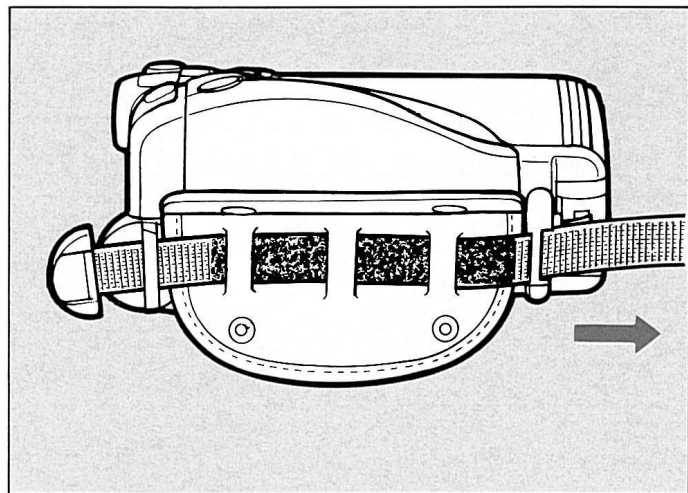
Q & A ……53

主要性能一覧……………55

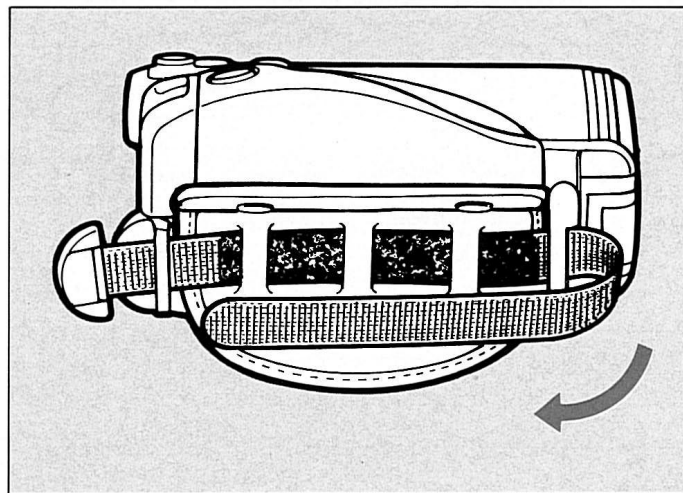
アフターサービスについて……………59

カメラの準備をします

1. ハンドストラップを付けます

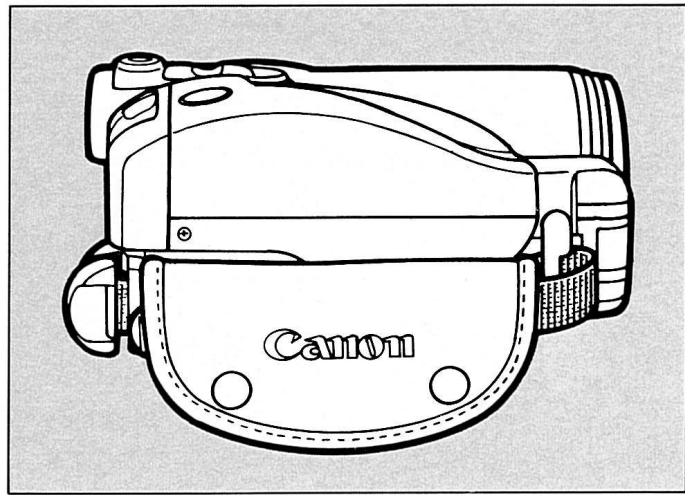
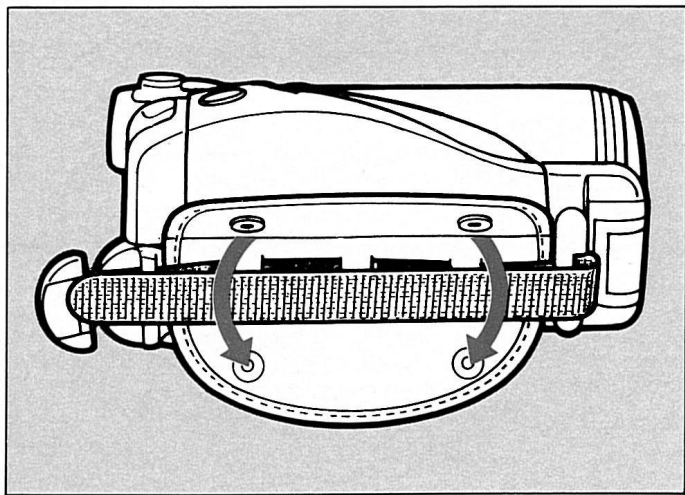


1 ハンドストラップと甲当て部を図のようにカメラのストラップ取り付け部に取り付けます。



2 ハンドストラップを折り返してマジックテープで止めます。

・カメラを構えやすいようにストラップを調整します。

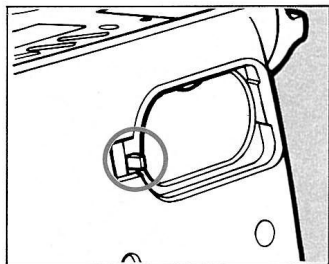


3 甲当て部を折り返しスナップをとめます。
(マジックテープ→ストラップ→スナップ)

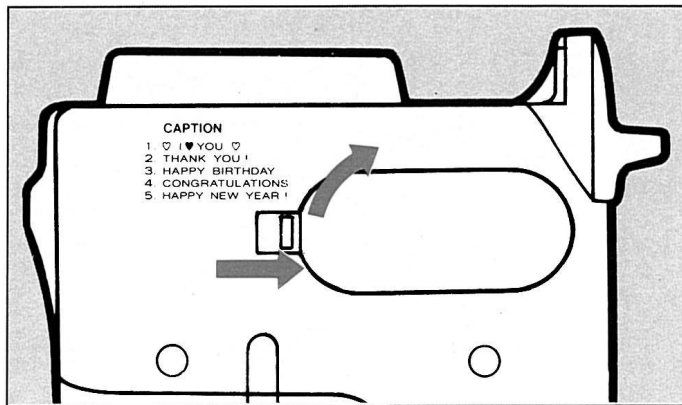
2. 電池を入れます

電池はリチウム電池パック(2 CR5, 6V)1個を使用します。次の手順で電池を入れます。電池を入れたら電池のチェックをします。

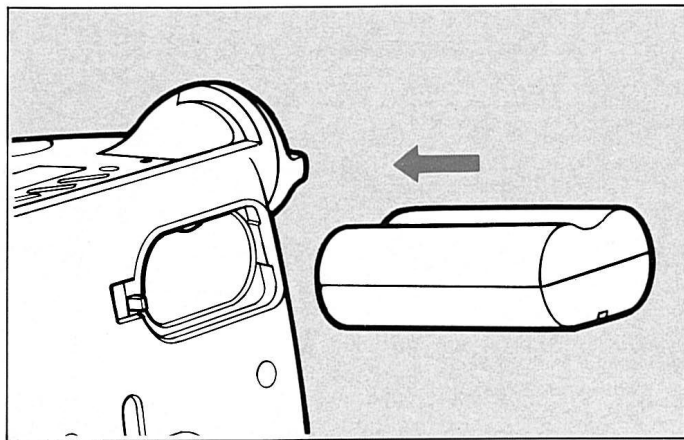
- 電池を入れたり交換したりするときは、必ず電池室蓋を開けて行ってください。
- カメラにフィルムが入っている場合に底蓋を開けると、フィルムの撮影済みの部分が感光してしまいます。



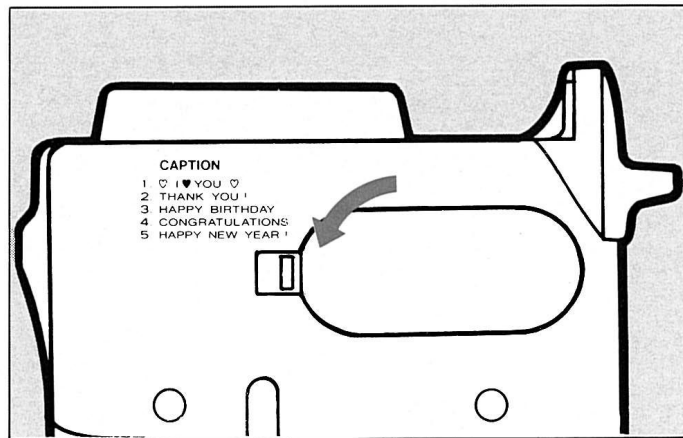
- ① 電池を交換するときは、オレンジ色のレバーをスライドして使用済み電池を取り出します。



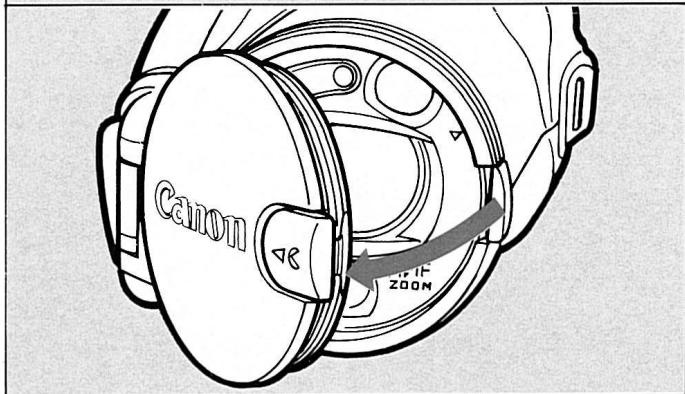
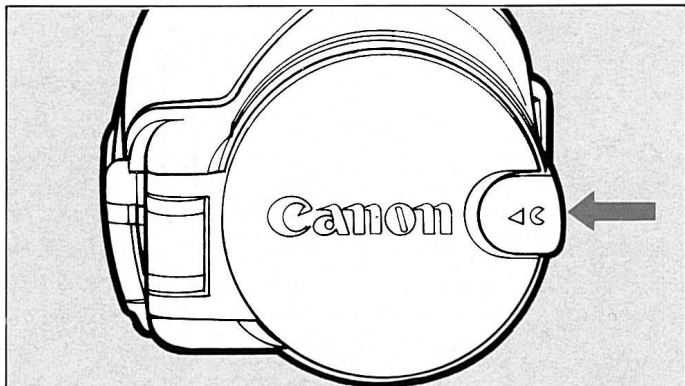
- 1 電池室蓋開放ノブを矢印の方向に押して電池室の蓋を外します。



2 図のように, +の接点をカメラの方に向けて電池を入れます。オレンジ色のレバーで電池がロックされるまで十分に押し込みます。



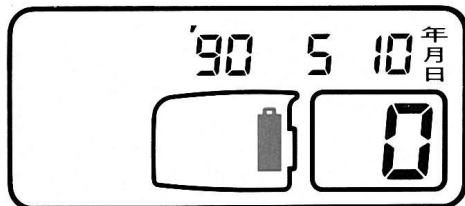
3 電池室の蓋をして確実に閉じます。



【電池のチェック】

1 レンズカバー開放ノブを押してレンズカバーを開きます。

- ・レンズカバーの開閉がメインスイッチを兼ねています。レンズカバーを完全に開くとカメラに電源が入ります。



2 表示パネルで電池をチェックします。

- ・表示パネルに図のように電池チェックマークが点灯すれば電池は充分です。

【撮影可能本数】

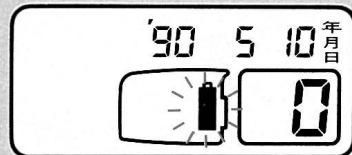
24枚撮りフィルム 35本（ストロボ50%使用時）
当社試験条件による

- ・このカメラにはクオートデートが内蔵されており、日付／時刻を写真に写し込むようにセットすることができます（→37頁）。
- ・正しい日付／時刻をセットしなくてもカメラの操作には支障ありません。このまま使用書を読み進め、カメラの操作になれば正しい日付と時刻をセットしてください（→38頁）。
- ・電池を入れ直したり入れ換えたりしたときは、日付／時刻をセットし直してください。

❶ 撮影前には必ず電池をチェックしてください。

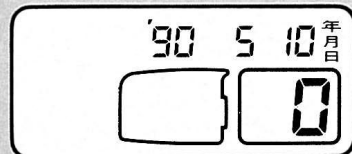
❷ ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一のときに備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域に

電池チェックマークが点滅



新品電池を準備します。

電池チェックマークが消灯



新品電池と交換しします（→7頁）。

よって電池の入手が困難なことがあります。

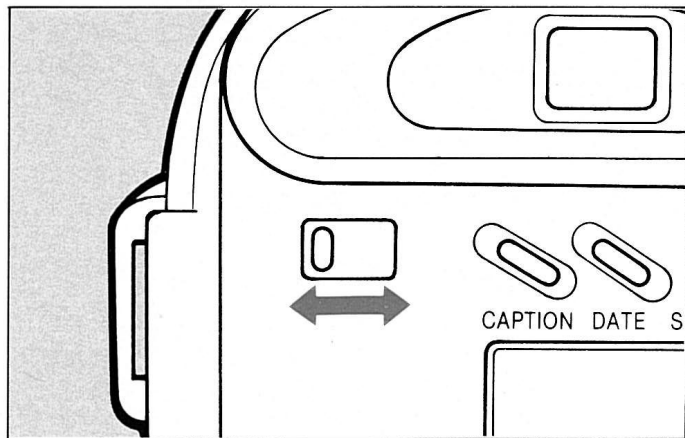
- ❶ レンズカバーの開閉はメインスイッチを兼ねています。カメラを使用しないときは必ずレンズカバーを閉じて電源を切り、レンズをゴミやホコリなどから守ってください。

3. 視度を調整します

視度調整レバーでアイレベルファインダーの視度を調整することができます。ファインダーの視度を調整することによって近視や遠視の方でも、メガネをかけずにファインダー像をはっきりと見ることができます。

視度調整レバーを左右に動かして、ファインダー像をはっきり見える位置にセットします。

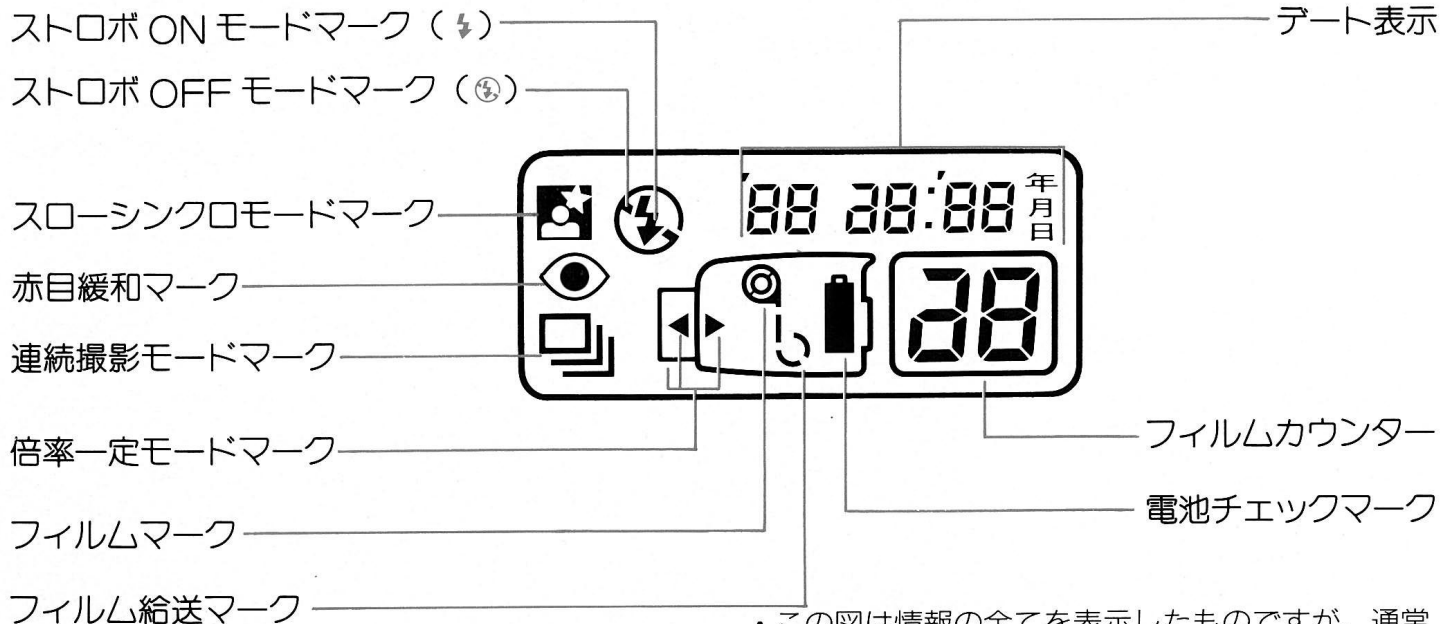
- ・視度調整レバーはクリックで止ります。自分の視力にあった位置にセットしてください。
- ・視力によっては、視度調整レバーを最大限に調整しても、アイレベルファインダーの視度を調整しきれない場合があります。



4. 表示パネルについて

表示パネルを見ると、今カメラがどんな状態にあるかが一目でわかります。いろいろな機能を

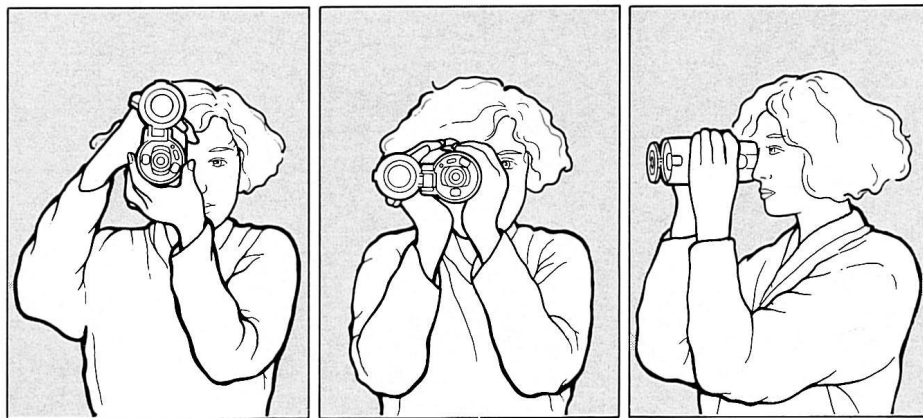
使いこなすために、絵文字や記号の意味を覚えてください。



・この図は情報の全てを表示したのですが、通常は必要な情報だけが表示されます。

カメラ操作の練習をします

1. カメラの正しい構え方

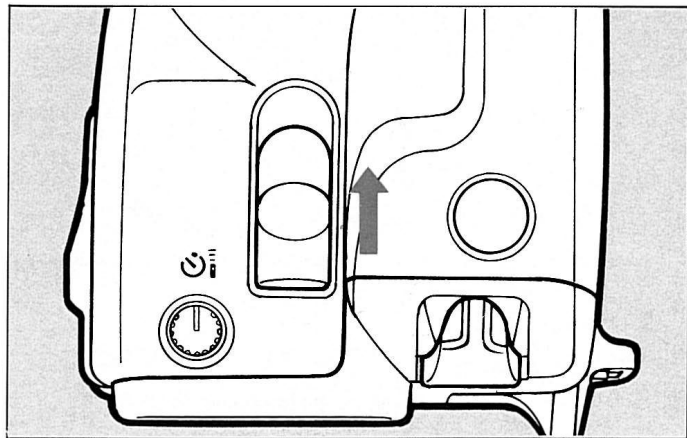


撮影のときにカメラが動くことを「手ぶれ」と呼びます。手ぶれ写真はピンボケとは違い、全体がボケた写真となりシャープに写っているところ

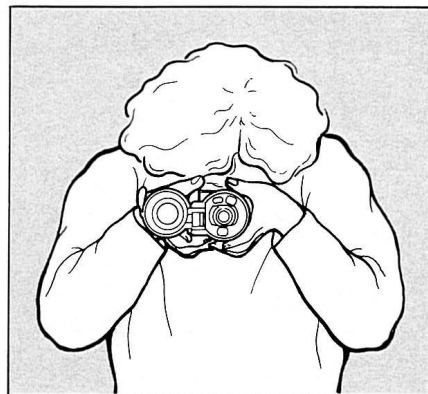
がありません。シャープな写真を撮るために、カメラが動かないように次のように構えます。

- 1 ハンドストラップに手を通しカメラのグリップを右手で包むようにしっかりと握り、ひじを軽く体に付けます。
- 2 左手でボディを包むように持ちます。
- 3 カメラを額に付けるようにして、ファインダーを覗きます。
- 4 両足を揃えずに、片足を軽く踏み出して体を安定させます。

・ ISO 200 や ISO 400 などの高感度フィルムを使用すると、手ぶれしにくくなります。13



ファインダー切り換えレバーをスライドさせると、ファインダーがローアングルファインダーに切り換わります。



【ローアングルファインダー】

このカメラにはアイレベルファインダーのほかにローアングルファインダーが組み込まれています。小さな子供の撮影やクローズアップ撮影（→46頁）など、極端に低い姿勢で撮影するときなどに利用します。

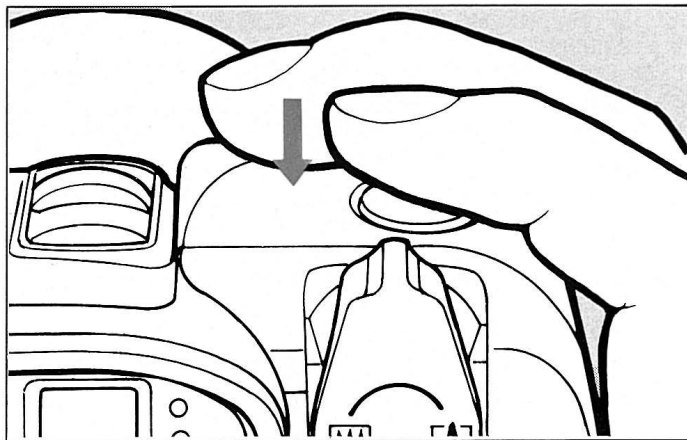
- ローアングルファインダーを使用するときは、カメラを図のように構えるとよいでしょう。
- ローアングルファインダーを使用するときは、ハンドストラップがレンズカバーに当たらないように持ってください。

2. シャッターボタンを押してみます

シャッターボタンは軽く押すとピントが合い、さらに押すとシャッターが切れます。シャッターボタンの押し方はブレのないはっきりした写真を撮るための重要なポイントです。

1 指の腹をシャッターボタンに軽くのせます。

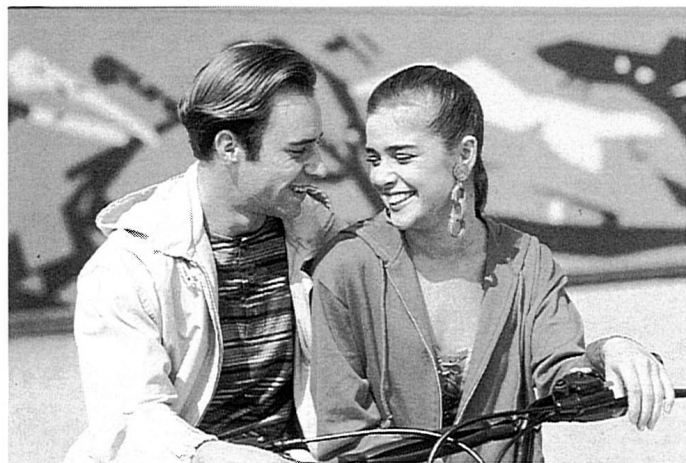
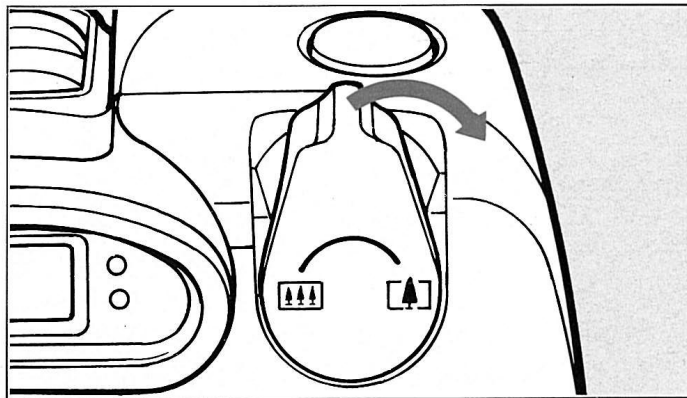
2 シャッターボタンを軽く押し、その位置からカメラを包みこむような感じでゆっくりシャッターボタンを押します。



❗ 指をシャッターボタンから離れた状態から一気に押しすぎたり、あるいは指を立てて押すことは手ぶれの原因になります。シャッターボタンは正しく押してください。

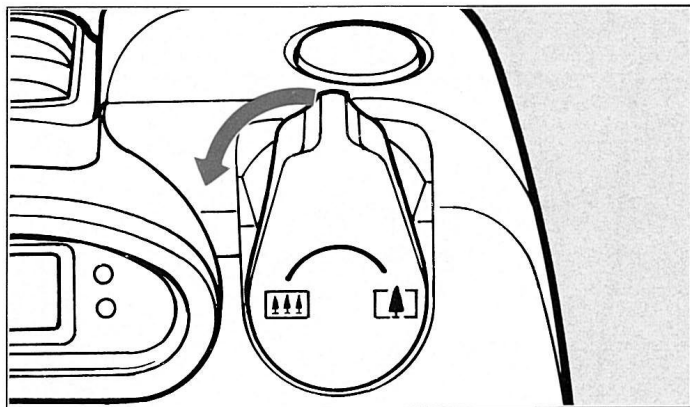
3. 被写体を大きく～小さくしてみます

ズームレバーを操作して、被写体までの距離を変えずにファインダー内の被写体の大きさを変えてみましょう。構図を自由に変えることができます。



【ズームレバーを右に倒す】

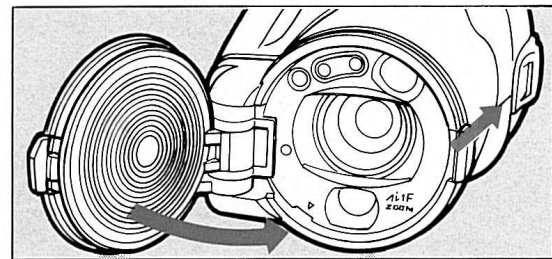
望遠になります。望遠側では被写体をより大きく写すことができます。人物のポートレート撮影などに利用します。



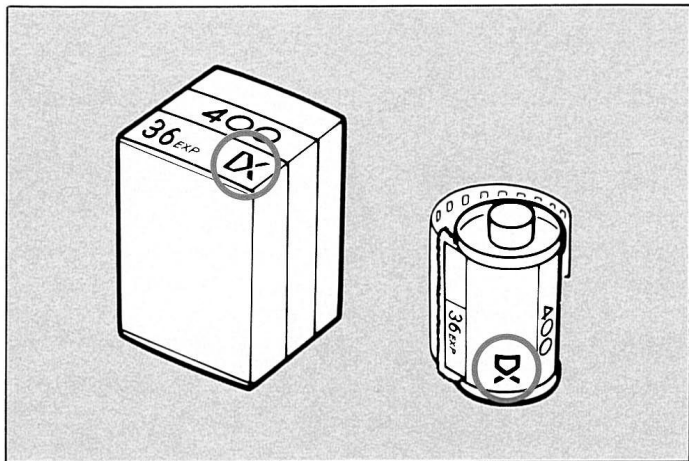
【ズームレバーを左に倒す】

レンズは広角になります。広角側ではより広い範囲を写すことができます。風景の撮影や人物の集合写真を撮影するときなどに使用します。

- ・レンズを望遠側にするとレンズはカメラから出ますが、その状態でレンズカバーを閉じると、レンズは自動的にカメラの中に収納されます。レンズカバーを閉じるときはレンズが確実にカメラの中に収納されてから閉じてください。

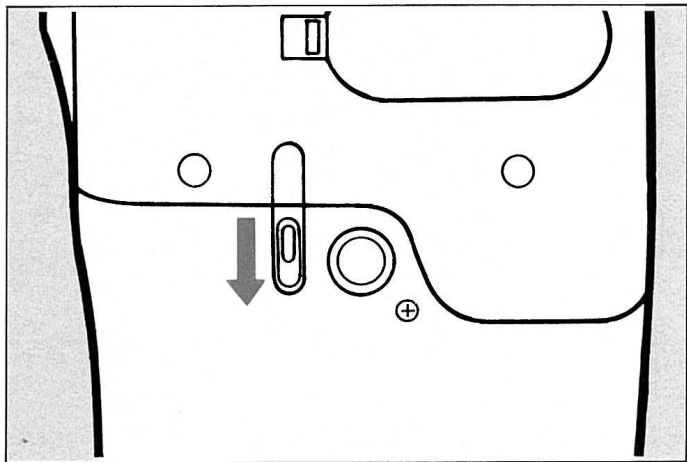


4. フィルムを入れます

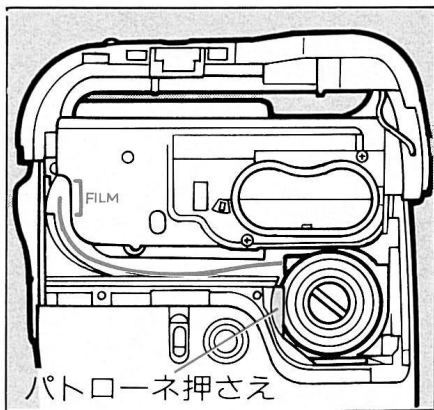


DX マークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

使用できるフィルム感度は ISO 25～ISO 3200 です。手ぶれを防ぐためにも ISO 200 や ISO 400 などの高感度フィルムの使用をお勧めします。

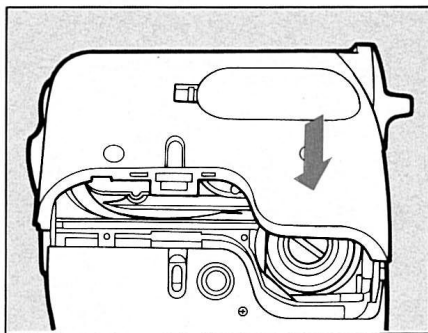


- 1 底蓋開放ノブを矢印の方向にスライドさせて底蓋を開きます。

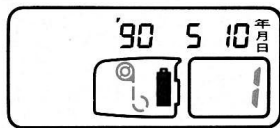


2 フィルムを図のような向きで、フィルム室に入れます。

- ・図の FILM マークの間にフィルムのリーダー先端を合わせます。
- ・パトローネを図のようにパトローネ押さえの下に確実に入れます。



3 底蓋を閉じます。自動的にフィルムを巻き上げ1枚目にセットします。



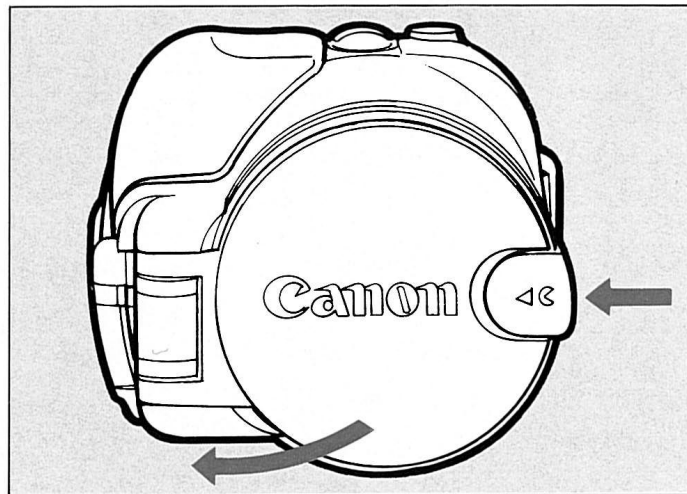
- ・フィルムが正しくセットされると、表示パネルにフィルムマークおよびフィルムカウンターの“1”が表示されます。

- ・フィルム給送マークおよびフィルムカウンターに“0”が点滅したときはフィルムが正しくセットされていません。底蓋を開けてフィルムを正しく入れなおしてください。
- ・フィルムが正しくセットされていない場合、シャッターは切れません。
- ・DX マークのついていないフィルム、またはフィルム感度 ISO 25 のフィルムは自動セットされません。フィルムをフィルム室に入れ底蓋を閉じてから、フィルムカウンターに“1”が表示されるまでシャッターボタンを押してください。
- ・湿度の高い場所ではフィルムリーダー部が濡れないようにしてください。

全自動撮影で簡単な撮影をします

1. メインスイッチを入れます

レンズカバーの開閉がメインスイッチを兼ねています。レンズカバーを開いてメインスイッチを入れると、自動的に全自動撮影にセットされます。全自動撮影は被写体が暗かったり逆光だったりすると自動的にストロボが発光します。



2. 撮影します

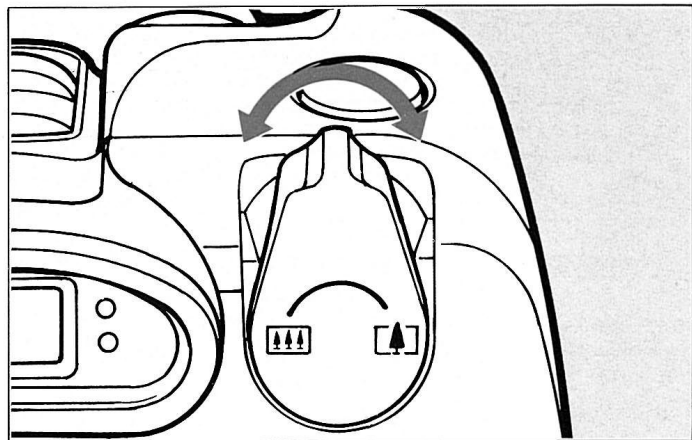
ファインダー視野図



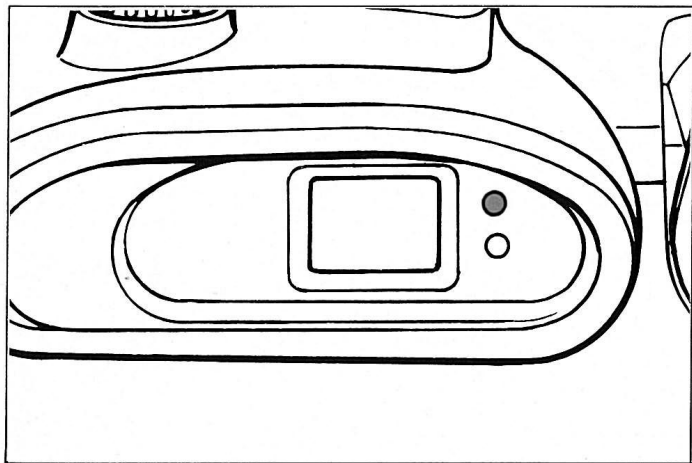
撮影範囲枠

フォーカスフレーム

近距離撮影範囲枠



- 1** 構図を決めます
被写体にカメラを向け、ファインダーをのぞきながらズームレバーを操作して被写体の大きさを決めます。



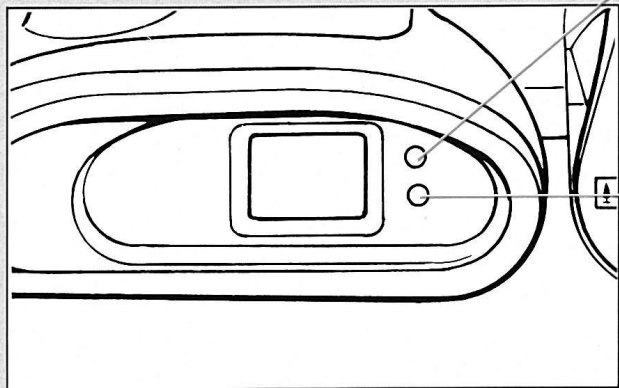
2 フォーカスフレームを目安にして、軽くシャッターボタンを押します。ピントが合うと、緑ランプが点灯します。

- 0.8 m 以内はピントが合いません。
- フォーカスフレームから若干被写体がずれた場合でも AI-AF (評価測距) により自動的にピントが合います。

3 そのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押してシャッターを切ります。

- 暗いところや逆光のときはストロボが自動的に発光します。

【表示ランプについて】



【緑ランプ】

- ・点灯：ピント合わせ完了（撮影 OK）
- ・遅い点滅（4回／秒）：近距離警告（被写体から0.8 m以上離れてください）
- ・速い点滅（16回／秒）：一点測距ピント合わせ完了（撮影 OK）（→ 24 頁）

【赤ランプ】

- ・点灯：ストロボ充電完了
- ・遅い点滅（4回／秒）：手ぶれ警告（ストロボ OFF モード時、および全自動撮影で遠景ボタンを押した時表示）
 - ・ストロボは発光しません。
- ・速い点滅（16回／秒）：赤目緩和ランプ点灯

① ガラス越しに撮影するときは、カメラをできるかぎりガラスにつけるようにします。

【ストロボの連動距離範囲】

ISO 100	0.8~6.0 m
ISO 200	0.8~8.5 m
ISO 400	0.8~12.0 m

(カラープリント用フィルム使用時)

【一点測距撮影】

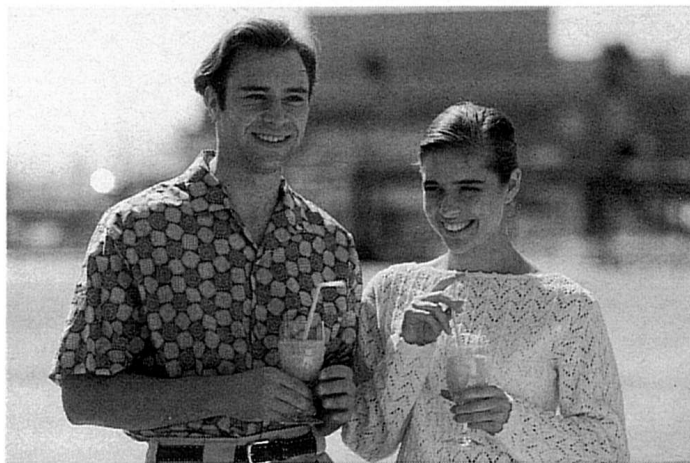
特に小さなものや被写体を極端にファインダーの端に配置して撮影するとき、あるいはカメラを縦位置に構えて撮影するときなどには、ピントを合わせる位置をフォーカスフレームの中央部に限定する一点測距撮影を行いません。

シャッターボタンを軽く押したまま、左手でズームレバーを右または左に倒すと、緑ランプが速い点滅（16回/秒）を始め、フォーカスフレームのみでピントを合わせることができます。

- ・緑ランプが速い点滅を始めたら、ズームレバーから手を放しても構いません。

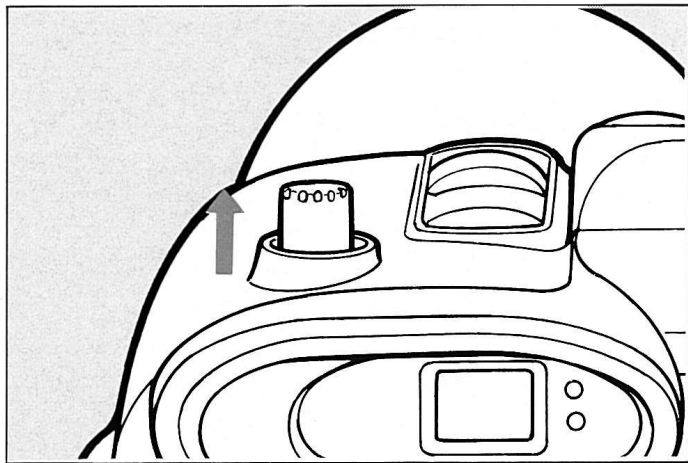
シャッターボタンを軽く押したまま、構図を決め撮影してください。

3. セルフタイマー撮影



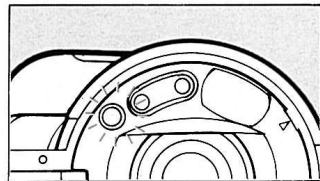
セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。セルフタイマー撮影のときは、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。

- ・セルフタイマー撮影では、シャッターボタンを押してから約 10 秒後にシャッターが切れます。



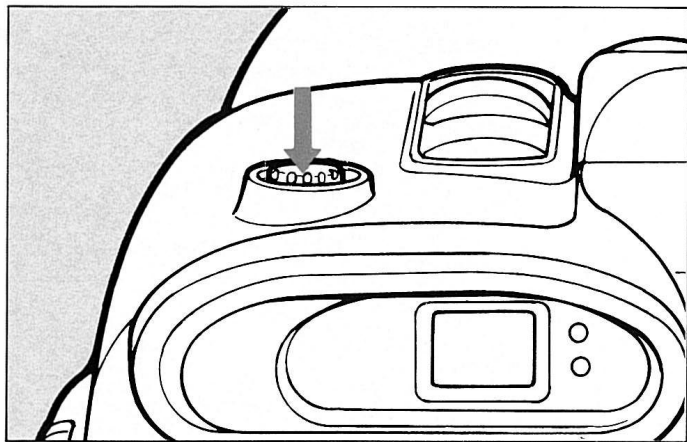
- 1 カメラをセットし、セルフ・リモコンボタンを軽く押して飛び出させます。

- ・セルフ・リモコンランプがゆっくり点滅します。



2 構図を決めシャッターボタンを押します。

- ・セルフ・リモコンランプが点滅を速め(2回/秒), 約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前になるとセルフ・リモコンランプの点滅がさらに速く(8回/秒)なります。
- ・フィルムカウンターの表示がタイマー表示に変わり, シャッターが切れるまで1秒ずつカウントダウンします。
- ・カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となることがあります。



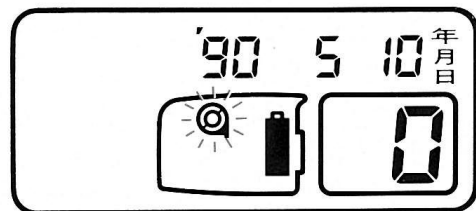
3 セルフタイマー撮影後, セルフ・リモコンボタンを押し込んでセルフタイマーを解除します。

- ・シャッターが切れる前にセルフ・リモコンボタンを押すと, その時点でセルフタイマーは解除され, シャッターは切れません。

4. フィルムを取り出します

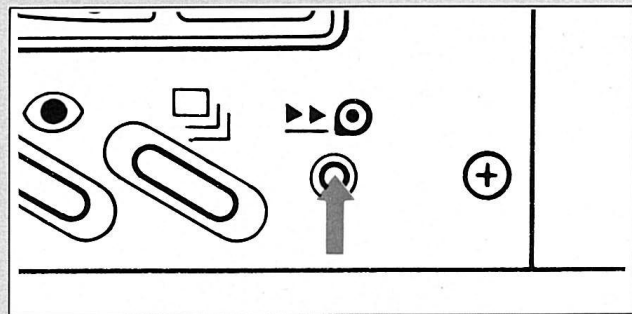
セットしたフィルムを使い終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中はフィルム給送マークが点滅し、フィルムカウンターの数値が減って行きます。

巻き戻しは終了と同時に自動的に止まり、フィルムマークが点滅します。



- ・巻き戻しの前にレンズが自動的に広角となります。

【フィルムの途中巻き戻し】



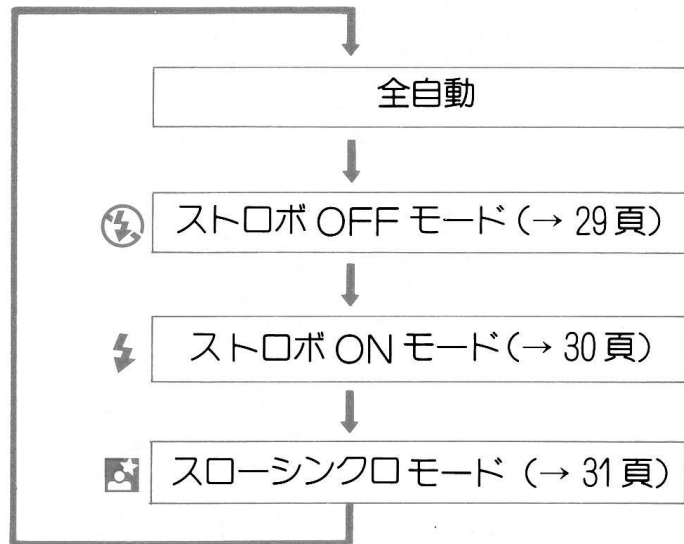
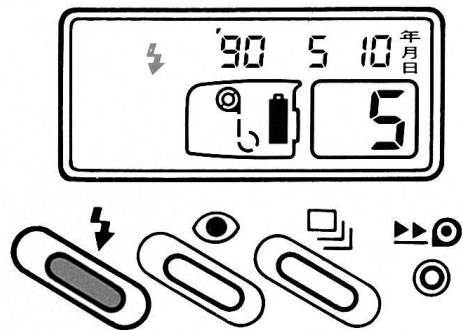
フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出したいときは、ストラップ肩当てゴム部の突起を利用してフィルム途中巻き戻しボタンを押します。

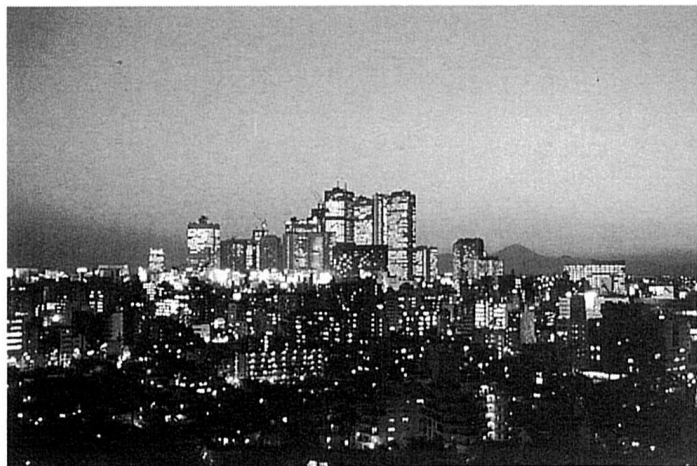
- ❶ 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。

カメラの機能を使いこなすために

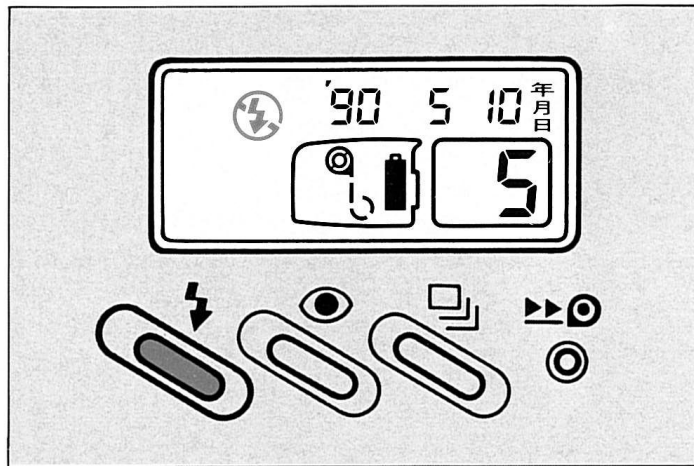
1. 撮影モードを設定します

撮影モード切り換えボタンを押すと、次の順で撮影方法が切り換わり、表示パネルで確認することができます。





1) ストロボ OFF モード撮影
撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルにストロボ OFF マークを表示するとストロボが発光しなくなります。
ストロボ撮影が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影、夜景などの撮影に使用します。

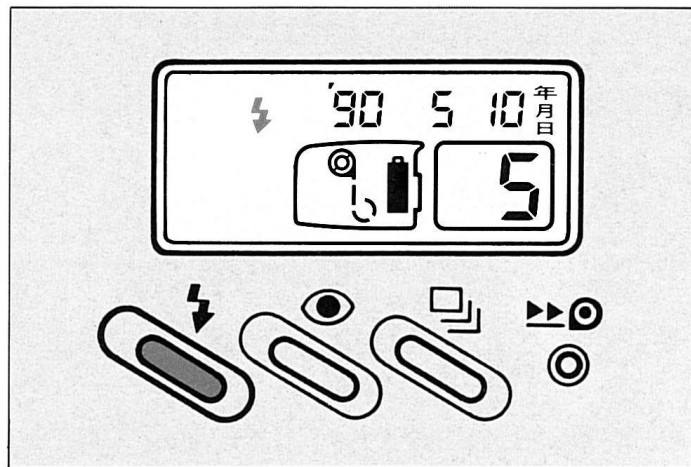


- ・ 暗い場所でのストロボ OFF モードによる撮影は、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれ警告の赤ランプが点滅したときは、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。



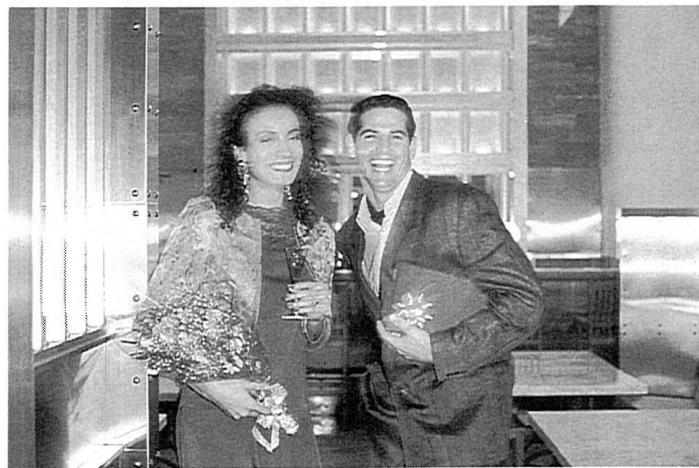
2) ストロボ ON モード撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルにストロボ ON マークを表示すると、撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。強い光の下では被写体が部分的に影に入ってしまったたり、被写体に強い影ができたりすること



がありますが、このような被写体の影をやわらげるときに使用します。

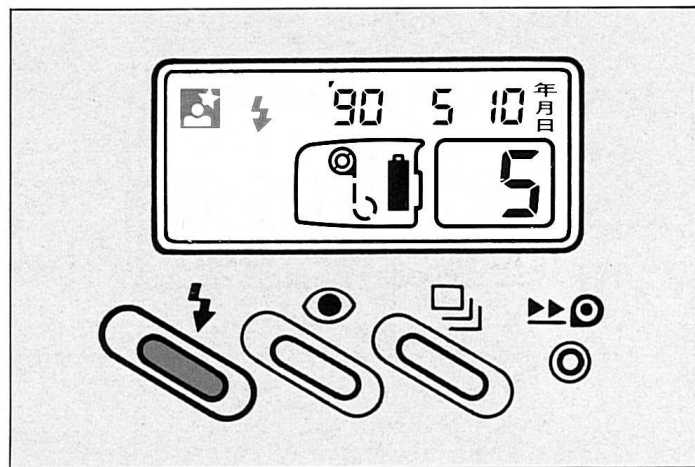
- ・ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです (→ 24 頁)。



3) スローシンクロモード撮影

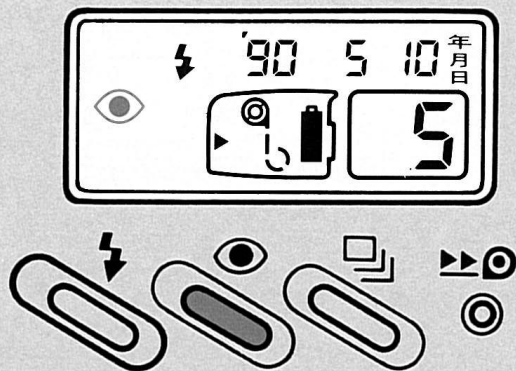
撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルにスローシンクロモードマークを表示すると、ストロボ発光と遅いシャッタースピードがセットされます。

夕暮れや夜景などを背景にして人物撮影をする



ときに使用します。人物にはストロボがあたり、背景も遅いシャッタースピードできれいに撮影することができます。

- 手ぶれ写真を防ぐために、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです (→ 24 頁)。



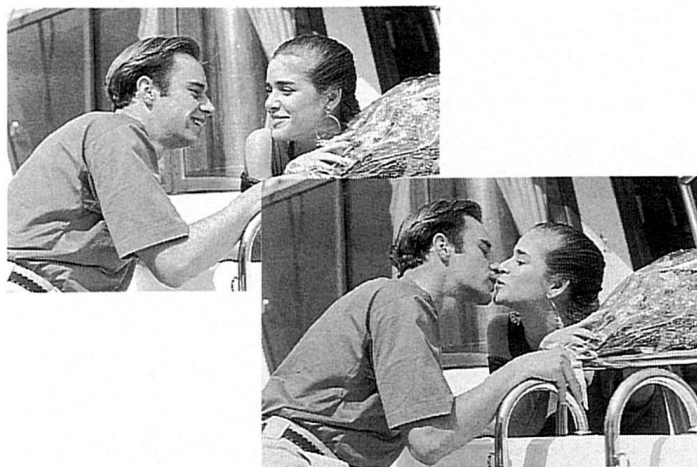
【赤目緩和撮影】

人物をストロボ撮影すると被写体の目が赤く写ってしまうことがあります。これを赤目現象と言います。

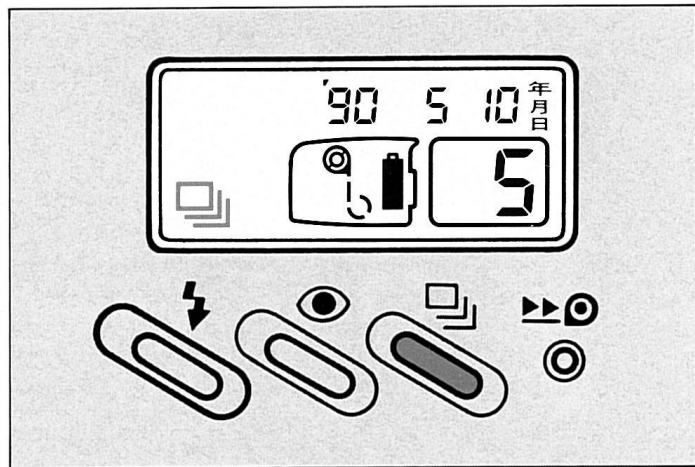
赤目緩和ボタンを押し、表示パネルに赤目緩和マークを表示してから撮影すると、シャッターが切れる前に赤目緩和ランプが被写体を照明して赤目現象を緩和することができます。

- ・赤目が出やすい状況になると、必要な時間赤目緩和ランプが被写体を照明してからシャッターが切れます。
- ・電池を入れると赤目緩和が自動的にセットされます。

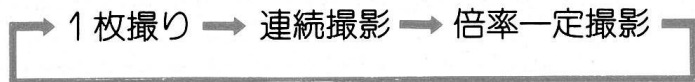
2. 連続写真を撮るには



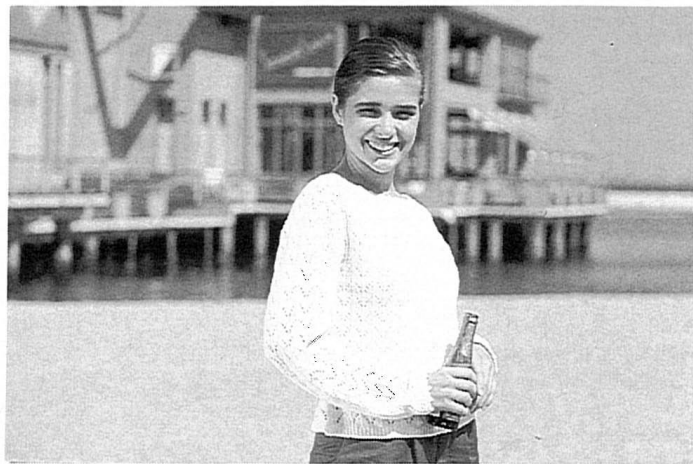
レンズカバーを開いてメインスイッチを入れると、自動的に1枚撮りにセットされますが、フィルム巻き上げモード切り換えボタンを押して、表示パネルに連続撮影モードマークを表示すると、シャッターボタンを押している間、連続して撮影することができます。



フィルム巻き上げモード切り換えボタンを押すと、フィルム送りは次のように切り換わります。



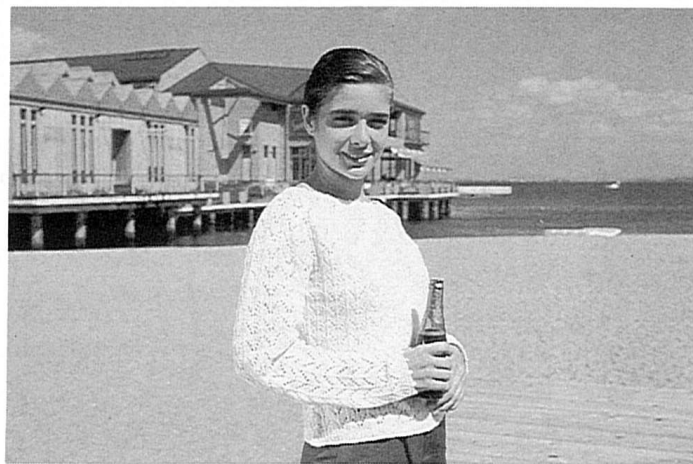
3. 一定倍率で写真を撮るには



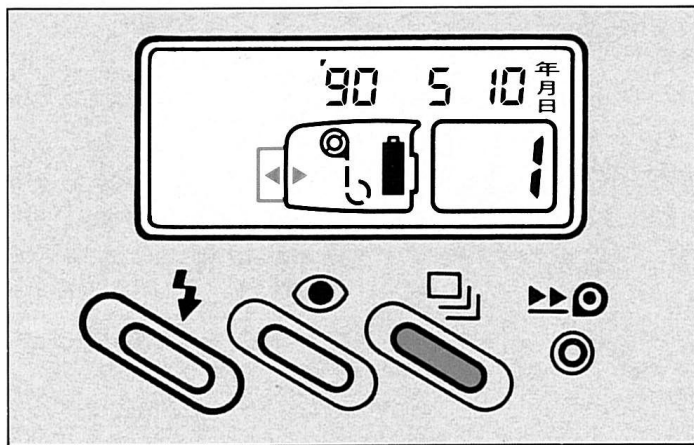
【倍率一定モード撮影】

倍率一定モード撮影は撮影距離を変えてもレンズが自動的にズーミングして、いつも同じ倍率で被写体を撮影することができます。

写したものの大きさをプリント上で比較する必



要があるときや、背景の写る範囲を変えながら人物を一定の大きさに撮影するときなどに使用します。



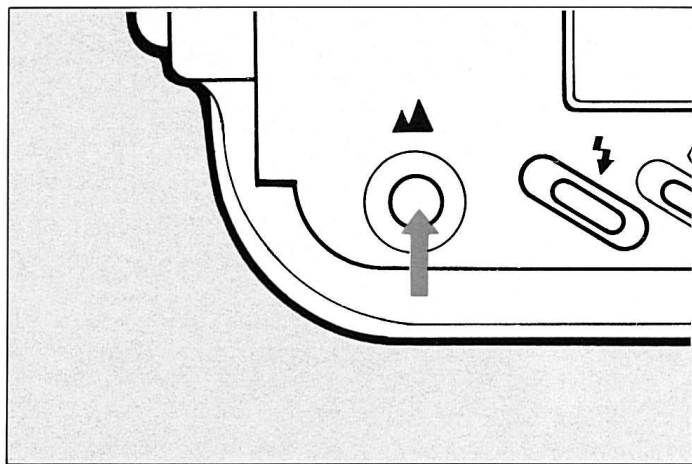
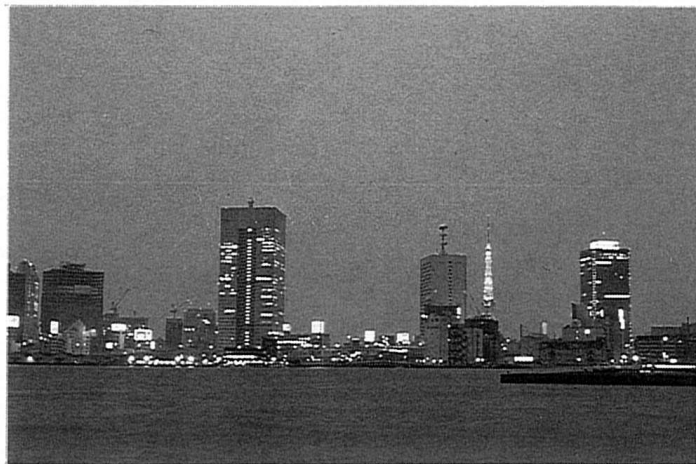
- 倍率一定モードの撮影範囲は2.0 m～5.6 mです。
- 縦位置で大人の全身（横位置で大人の上半身）が撮影できます。

1 倍率一定モード切り換えボタンを押して、表示パネルに倍率一定モードマークを点灯させます。

- 倍率一定モードは、ズームレバーを操作したり、メインスイッチを切ると解除されます。

2 撮影します。
撮影距離が変わっても一定の倍率になるようにレンズが自動的にズーミングします。

4. 雄大な風景をシャープに撮影するには



【遠景ボタン】

遠くの風景などを撮影するときは、遠景ボタンを押しながらシャッターを切るとよりシャープな風景写真を撮ることができます。

日付やメッセージを入れて撮る

1. 日付／時刻のセットと写し込み

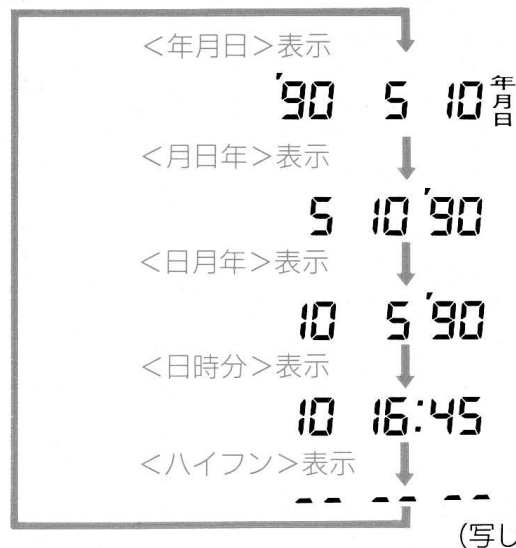
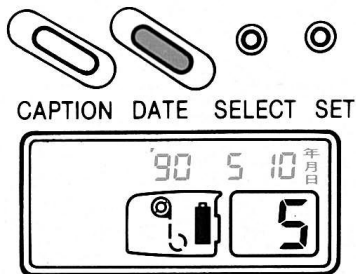
このカメラには 2029 年までのオートカレンダーが組み込まれており、写真に写し込むことができます。

日付／時刻は一度セットすれば、撮影のたびにセットする必要はありません。

電池を初めて入れたときや、新しい電池と交換したときは日付／時刻をセットします。また、海外旅行などで日付／時刻を修正する必要があるときも同じようにして行ないます。

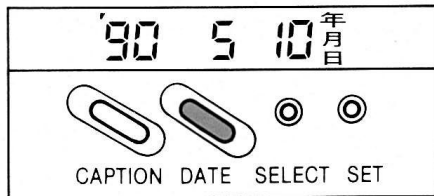
【写し込み】

デート表示切り換えボタン (DATE) を押すたびに表示パネルは次のように変わります。

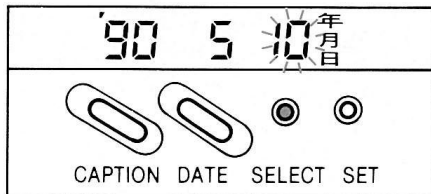


表示パネルに表示された日付／時刻が写し込まれます。--- ---を表示させると何も写し込まれません。

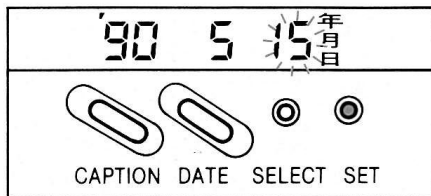
【日付／時刻のセット】



- 1** デート表示切り換えボタン (DATE) を押して、表示パネルに修正する日付 (時刻) を表示します。



- 2** 修正位置選択ボタン (SELECT) を押して修正する数字を点滅させます。



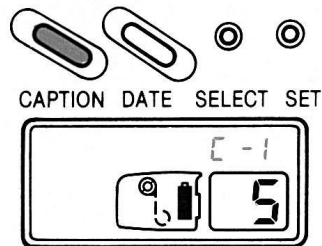
- 3** 数値セットボタン (SET) を押して正しい数字をセットします。

- 数値セットボタンは1回押しごとに数字は一つ進み、押し続けると連続して進みます。
- ボタンを押すときはストラップ肩当てゴム部の突起を利用します。

- 4** 点滅している数字がなくなるまで、修正位置選択ボタン (SELECT) を押します。点滅している数字がなくなれば、セットは完了です。

2. メッセージを写し込む

このカメラはデート以外にメッセージを写し込むことができます。メッセージ表示切り換えボタンを押して写し込むメッセージを選びます。メッセージ表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のよう
に変わります。



[-1] 表示 1. ♡ I ♡ YOU ♡

[-2] 表示 2. THANK YOU !

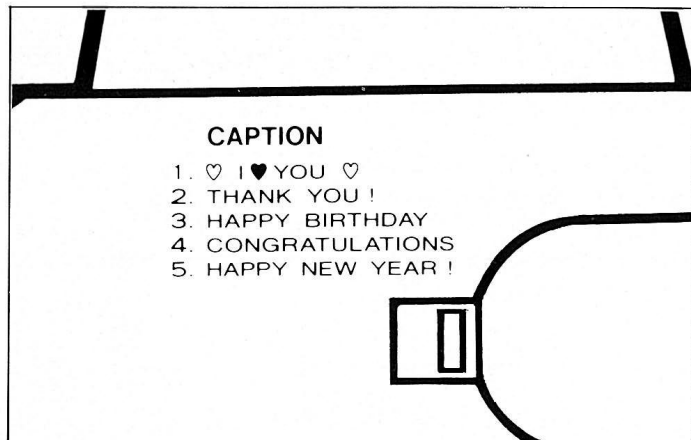
[-3] 表示 3. HAPPY BIRTHDAY

[-4] 表示 4. CONGRATULATIONS

[-5] 表示 5. HAPPY NEW YEAR !

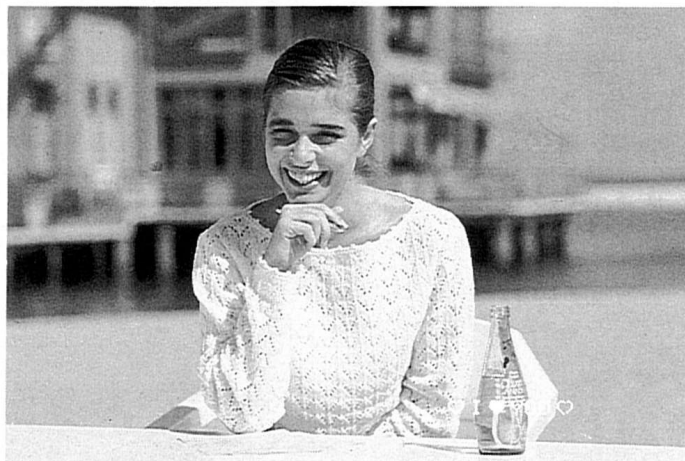


• 日付は表示パネルの表示と異なり、写真のように写し込まれます。



- 底蓋にも表示パネルに対応するメッセージが表示されています。
- 日付／時刻の写し込みがセットされていても、メッセージの写し込みをセットすると、一時的にメッセージの写し込みに切り換わります。

- メッセージの写し込みは1枚撮影するごとに日付／時刻の写し込みに切り換わります。
- 連続撮影の場合は、選んだメッセージが続けて写し込まれます。



メッセージは写真のように写し込まれます。

アクセサリを使って

1.離れた所からシャッターを切る

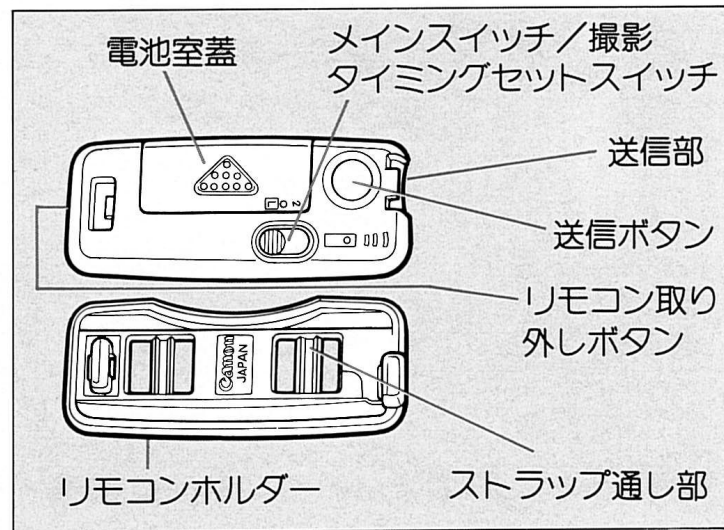


【リモコン撮影】

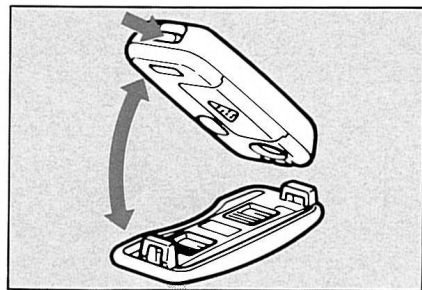
リモコンを使用すると、カメラから離れた所からシャッターを切ることができます。

撮影者もグループと一緒に写真に写ろうというときなどに使用します。

リモコン各部の名称

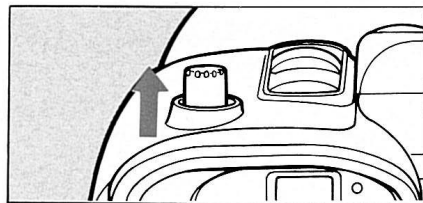
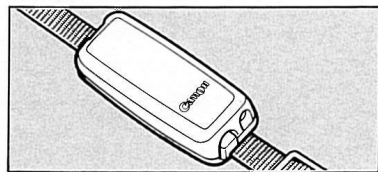


- ・リモコン撮影の際は、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。

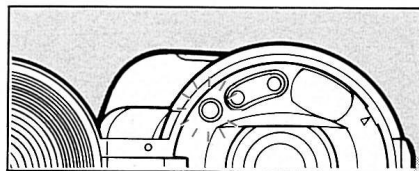


1 リモコン取り外しボタンを押して、リモコン送信機を外します。

- ・取り付けるときは、リモコン送信機の下部をリモコンホルダーのフックにかけ、上部を押しつけます。

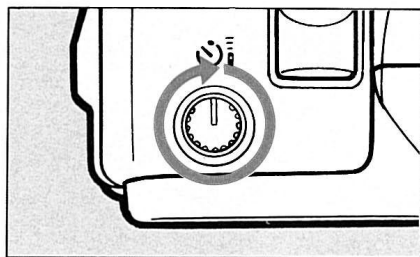


2 カメラをセットし、セルフ・リモコンボタンを軽く押して飛び出させます。

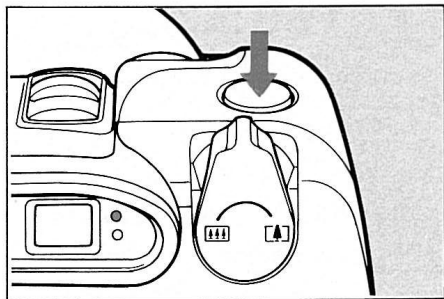


・セルフ・リモコンランプがゆっくり点滅します。

- ・図のような向きでリモコンホルダーにネックストラップを通しておくと携帯に便利です。

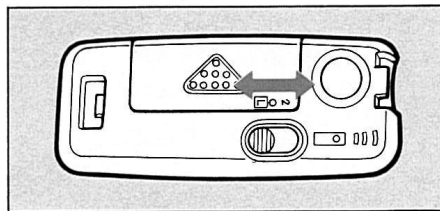


- ・リモコン受信部は水平に360°回ります。リモコンを操作する方向に受信部を向けます。
- ・このまま8分間経過するとリモコンからの信号を受信しなくなります。そのようなときは、セルフ・リモコンボタンをいったん元に戻し、もう一度飛び出させます。



3 構図を決め、シャッターボタンを軽く押します。

- ・ 緑ランプが点灯し、ピント合わせが完了します。ピントを合わせたまま撮影せずに8分以上経過すると、リモコン撮影の際に被写体からピントが外れることがあります。



4 リモコン送信機の撮影タイミングセットスイッチで撮影タイミングを選びます。

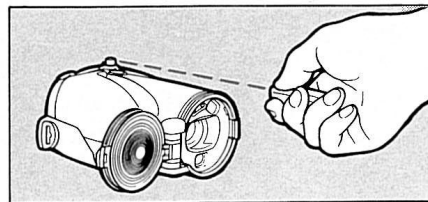
2：送信ボタンを押してから2秒後にシャッターが切れます。

●：送信ボタンを押すと同時にシャッターが切れます。

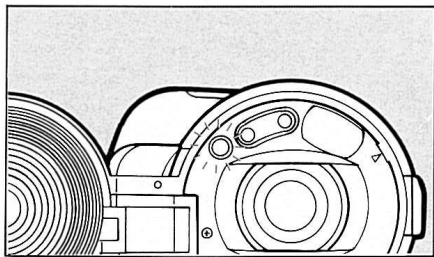
L：スイッチ OFF

- ・ リモコン送信機を使用しないときは電池の消耗を防ぐた

め、撮影タイミングセットスイッチを“L”にしてください。



5 リモコン送信機の送信部をカメラのリモコン受信部に向けて、送信ボタンを押します。



- ・セルフ・リモコンランプが点滅し、シャッターが切れてフィルムが巻き上がります。
撮影タイミングが“●”のとき：1回点滅
撮影タイミングが“2”のとき：8回/秒の速さで2秒間点滅

- ・セルフ・リモコンランプを確認しながら送信ボタンを押せば、リモコン撮影を続けることができます。

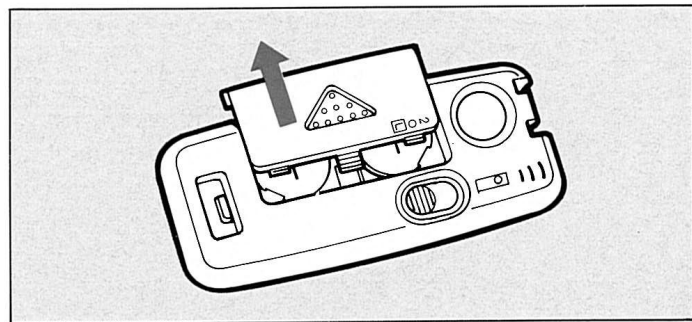
❗ リモコン受信部が極端な逆光下にあったり、撮影距離が遠すぎたりすると、リモコン撮影ができません。そのようなときには、セルフタイマーを使用してください。

❗ リモコン撮影が可能な距離は約5m以内です。

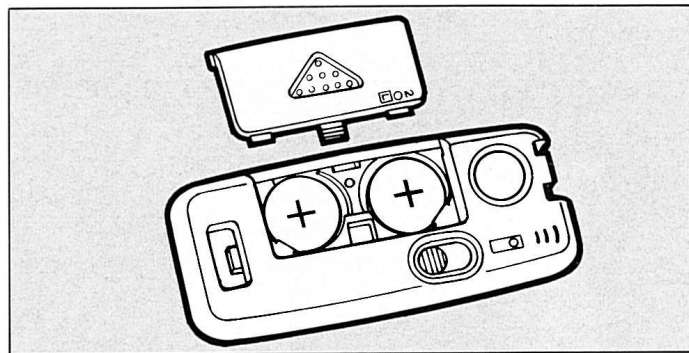
❗ リモコン受信状態時にインバーター式蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤動作することがあります。
この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。

【リモコンの電池交換】

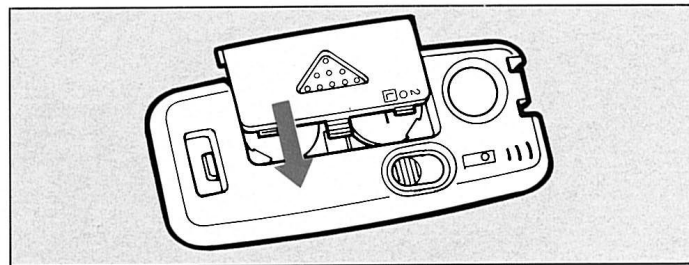
リモコン撮影でシャッターが切れなくなったら電池を交換します。電池を交換するときは2個とも新品の電池と交換します。電池はボタン型リチウム電池 CR 1220, 3V, 2個を使用します。



- 1 電池室の蓋を矢印の方向にスライドさせて外します。



- 2 電池を、図のように+側が手前になるように電池室に入れます。



- 3 電池室の蓋を元に戻します。

2. 草花などを大きく撮る

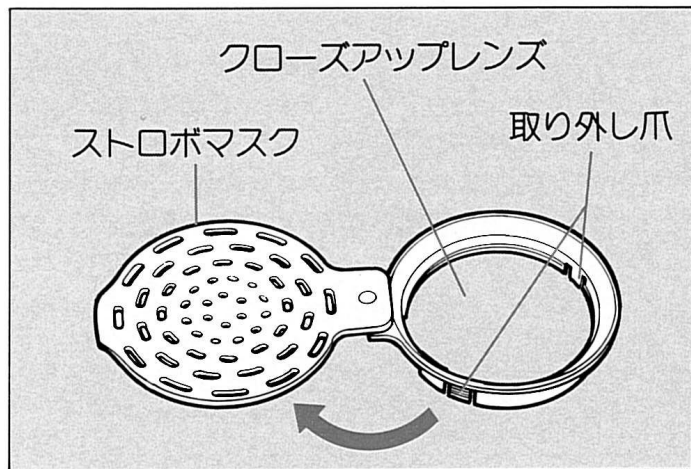


【クローズアップ撮影】

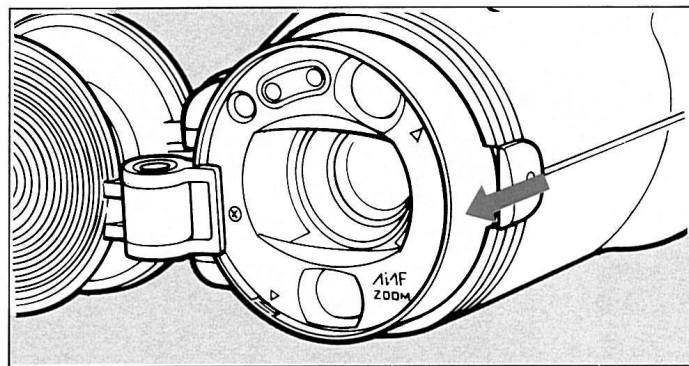
クローズアップレンズとストロボマスクが一体になった専用クローズアップユニットを使用して、0.55 m～0.9 m の範囲でオートフォーカスによるクローズアップ撮影をすることができます。

- ・クローズアップ撮影をする場合はカラープリント用フィルムを使用し、スライド用フィルムは使用しないでください。

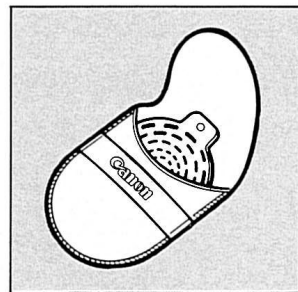
クローズアップユニット各部の名称



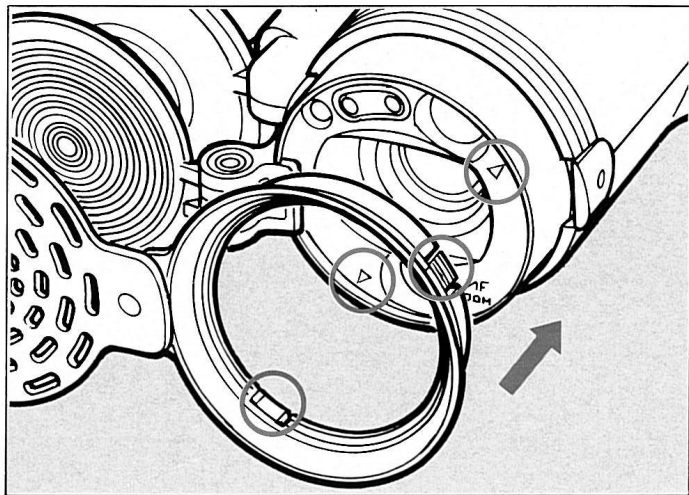
- 1 クローズアップユニットのストロボマスクを図のようにして、クリック位置まで完全に開きます。



- 2 ズームレバーでレンズを望远側にセットし、レンズをカメラから出します。



- ・使用しないときは専用のケースに入れて収納します。

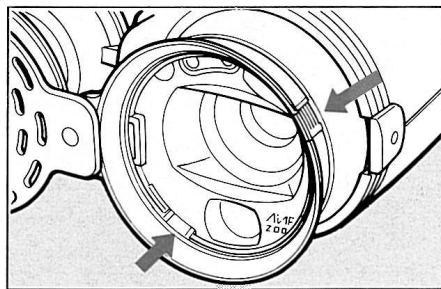


3 クローズアップユニットを、図のようにレンズ先端の取り付けマークに合わせて取り付けます。

- ・ストロボ発光部にストロボマスクを合わせます。

4 構図を決め撮影します。

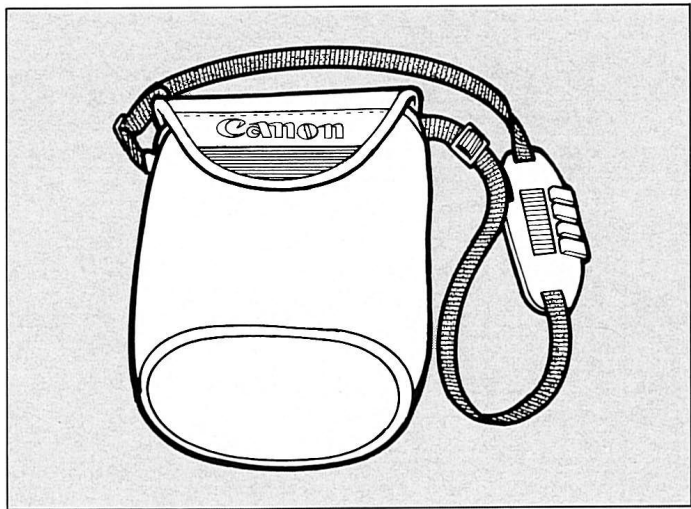
- ・クローズアップ撮影でも通常の撮影範囲枠で構図を決めます。ただし、被写体までの距離が0.55 mのときは近距離撮影範囲枠を利用します。
- ・ローアングルファインダー (→14頁) やリモコン (→41頁) を併用すると楽な姿勢で撮影することができます。
- ・レンズカバーを閉じるときは、クローズアップユニットを外してください。



- ・クローズアップユニットを外すときは、取り外し爪を押してください。

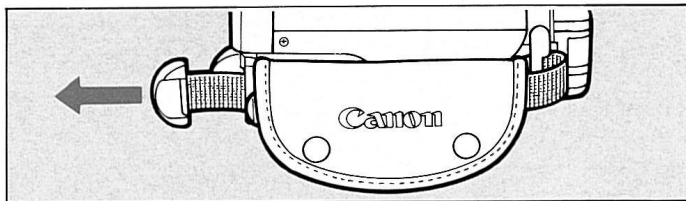
3. ソフトケースに入れる

カメラを使用しないときは図のように専用のソフトケースに入れて収納します。

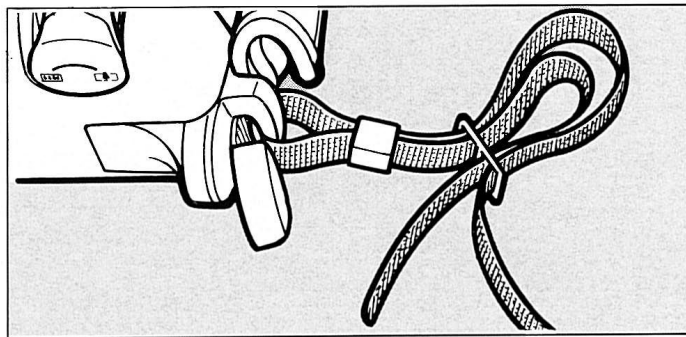


【ネックストラップの付け方】

ハンドストラップとネックストラップを同時に取り付けることができます。



1 ハンドストラップのストッパーを図のように少し引き出します。



2 図のようにネックストラップの先端が止め具の内側になるように、ストラップ取り付け部に通します。もう一方も同様に取り付けます。

いつもカメラを正常に保つために

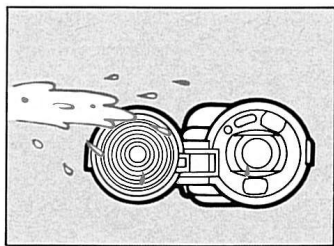
1. カメラを修理に出す前に

次の表を参考にしてチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

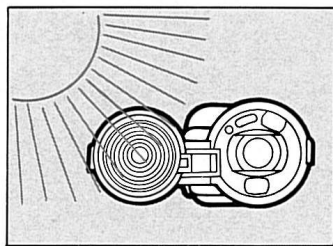
症状	原因	解決方法	参照頁
1. 表示パネルに表示がない	①電池が消耗	①電池を交換する	7
	②電池が逆向きにはいつている	②電池を正しく入れ直す	7
2. シャッターが切れない	①メインスイッチがOFFになっている	①メインスイッチをONにする	20
	②電池が消耗している	②電池を交換する	7
	③フィルムが正しくセットされていない(フィルム給送マークが点滅)	③フィルムを正しく入れ直す	18
	④巻き戻されたフィルムがカメラにはいつている(フィルムマークが点滅)	④フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	27

3. リモコン撮影ができない	<ul style="list-style-type: none"> ①撮影距離が遠すぎる ②カメラのリモコン受信部が送信方向に向いていない ③セルフ・リモコンボタンをセットしてから8分以上経過した ④逆光状態である ⑤カメラあるいはリモコン送信機の電池が消耗している 	<ul style="list-style-type: none"> ①近寄って撮るかセルフタイマーを使用する ②送信方向に向ける ③セルフ・リモコンボタンを再セットする ④セルフタイマー撮影に切り変える ⑤電池を交換する 	<p>25</p> <p>42</p> <p>42</p> <p>25</p> <p>7・45</p>
4. 写真がボケて写っている	<ul style="list-style-type: none"> ①セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した ②シャッターボタンを押すときにカメラが動いた（手ぶれ） ③クローズアップユニットを付けたまま通常の撮影をした 	<ul style="list-style-type: none"> ①カメラの直前に立たないように気を付ける ②シャッターボタンを静かに押す ③クローズアップユニットを外して撮影する 	<p>26</p> <p>15</p> <p>48</p>
5. 表示パネルに1E, 2E, 3Eが表示された	—	レンズカバーを閉じて、再度開く	20

2. 取り扱い上のご注意

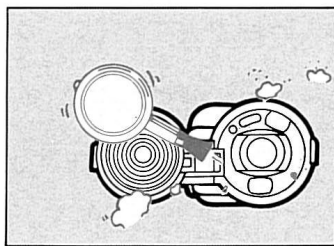


◆このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。また水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。

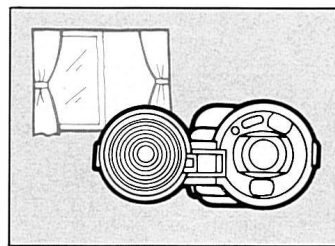


◆直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。

◆カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に自分で分解しないでください。



◆レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のプロアーブラシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。



◆カメラを長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

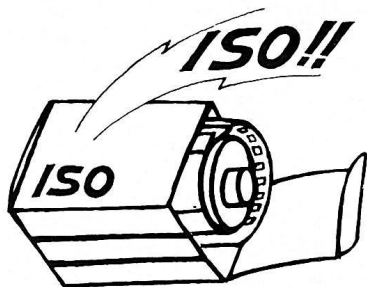
Q & A

Q.1 リバーサルフィルムは使えますか？

A.1 クローズアップ撮影以外で使うことができます。ただし、DX マーク付きのフィルム感度 ISO 50, 100, 200, 400, 800, 1600, 3200 のものを使用してください。

Q.2 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？

A.2 フィルムが光に感じる度合いを数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影では ISO 200 や ISO 400 のフィルムをお勧めします。



Q.3 フィルム感度別に、ストロボ撮影できる距離を知りたいのですが？

A.3 次の表のようになります。

ISO 100	0.8~ 6.0 m
ISO 200	0.8~ 8.5 m
ISO 400	0.8~12.0 m
ISO 1000	0.8~17.0 m
ISO 1600	0.8~24.0 m
ISO 3200	0.8~34.0 m

(カラープリント用フィルム使用時)

Q.4 写真に写し込まれた日付やメッセージが読みにくいのですが？

A.4 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものができるようにしてください。また、数字/文字はオレンジ色に写りますので、オレンジ色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q.5 通常の撮影で被写体に0.65 mより近づくと、近距離警告の緑ランプが点滅しなくなってシャッターが切れることがあります。このときの写真はどのようなのですか？

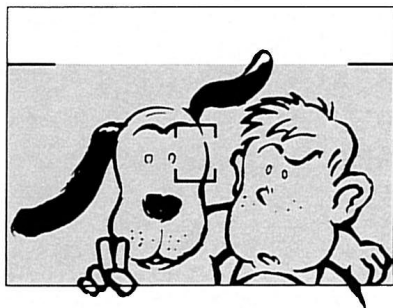
A.5 ピントは合いません。被写体から0.8 m以上離れて撮影してください。

Q.6 表示パネルの文字が薄くなってきたのですが？

A.6 液晶の交換時期です（寿命：約5年）。最寄りのキヤノンサービスステーションに液晶の交換をご用命ください（有料）。

Q.7 ファインダー内の近距離撮影範囲枠とは何ですか？

A.7 通常撮影で、撮影距離が0.8 m、クローズアップ撮影で、撮影距離が0.55 mのときの撮影範囲を示す枠です。この範囲枠内で構図を決め、撮影してください。



主要性能一覽

型式：ズームレンズ内蔵 35 mm レンズシャッター式 AF 全自動カメラ

画面サイズ：24×36 mm

レンズ：キヤノンレンズ 35-105 mm F 2.8-6.6

焦点調節：評価測距アクティブオートフォーカス
一点測距可能 ∞モードあり

撮影距離：0.8 m～∞（専用クローズアップユニット装着時；0.55～0.9 m）

倍率一定：フィルム巻き上げモード / 倍率一定モード
モード切り換えボタンによる撮影距離に応じて 1/55倍 の撮影倍率となるようにズームングを行う

シャッター型式：絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

ファインダー：①実像式アイレベルズームファインダー

倍率；広角 0.35 倍 望遠 1.05 倍

②実像式ローアングルズームファインダー

倍率；広角 0.21 倍 望遠 0.62 倍
随時切り換え可能

視度調整：-2～0 ジオプター（視度調整レバーにより可能）

ファインダー情報：ファインダー内；

撮影範囲枠

近距離撮影範囲枠

フォーカスフレーム

ファインダー接眼部；

撮影 OK / 近距離警告 / 一点測距撮影 OK
（緑色 LED）

ストロボ撮影 / 手ぶれ警告 / 赤目緩和（赤色 LED）

フィルム装填：自動（自動空送り付き、ドロップイン方式）

フィルム巻き上げ：自動，1 枚撮影と連続撮影（1コマ/秒）の切り換え可能

フィルム巻き戻し：自動，巻き戻し終了後自動停止途中巻き戻し可能

フィルムカウンター：7 セグメント 2 桁表示 順算式 フィルムの進行に連動
フィルム空送り不良表示あり

セルフタイマー：電子制御式

セルフ・リモコンボタンとシャッターボタンにより作動, 約 10 秒後リリース

ボディ正面赤色 LED 表示
フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン

リモートコントロール機能：赤外光を利用した専用リモコンシステム

送信ボタンにて作動,
即リリースと 2 秒後リリースの切り換え可能
作動距離範囲；約 5 m
以内

電源；ボタン型リチウム電池

CR 1220 3V 2 個
寿命；約 20,000 回送信可能

測光作動範囲：全自動モード／ストロボ ON モード

広角；1/100 F 2.8~1/250
F 11 (EV 9.75~15.0)

望遠；1/100 F 6.6~1/250
F 27 (EV 12.25~17.5)

ストロボ OFF / スローシンクモード
広角；2 秒 F 2.8~1/250
F 11 (EV 2.0~15.0)

望遠；2 秒 F 6.6~1/250
F 27 (EV 4.5~17.5)

露出補正：ストロボ OFF モードで逆光時に+1 段の自動露出補正

フィルム感度：ISO 25~3200 DX コードにより
1 段ごとに自動セット

内蔵ストロボ：低輝度、逆光時自動発光式ストロボ
内蔵型ズームストロボ
赤目緩和ランプ内蔵

ストロボ連動範囲：0.8~6.0 m (カラープリント用
フィルム ISO 100 使用時)

ストロボ充電時間：約 2.5 秒

ストロボ切り換え：撮影モード切り換えボタンによる

①全自動モード；低輝度，逆光
時自動発光

②ストロボ OFF モード；発
光禁止

③ストロボ ON，スローシンク
ロモード；常時発光

電源：リチウム電池 2CR5, 6V, 1個

撮影可能本数：24枚撮りフィルム 約35本

(ストロボ 50%使用時) 当社試験条
件による

バッテリーチェック：電池チェックマークにより3
段階表示 点灯→点滅→消灯

大きさ：99.5(幅)×73.5(高さ)×155.5(奥行)mm

重量：645g(本体のみ)

写し込み機能

方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵オー
トカレンダー(西暦 2029年まで，うるう年自
動修正)

時計機構：常温 20°C下で月差±120秒以下

写し込みデータ：デート；①年・月・日

②月・日・年

③日・月・年

④日・時・分

⑤写し込みなしの5通り

メッセージ；①♡I♥YOU♡

②THANK YOU!

③HAPPY BIRTHDAY

④CONGRATULATIONS

⑤HAPPY NEW YEAR!

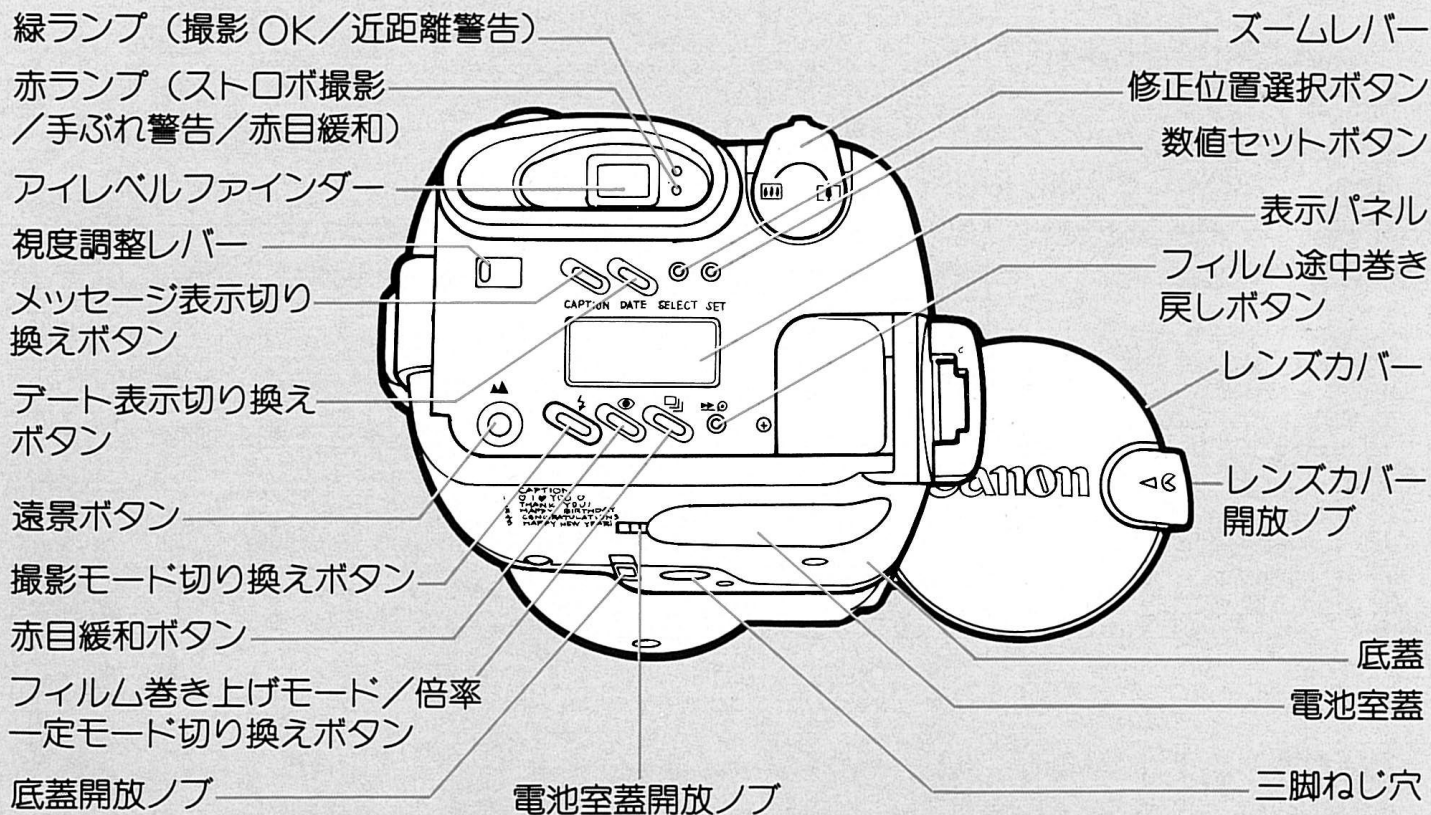
の5通り

文字形状：5×7のドットマトリックスによる

写し込みの色：オレンジ色

電源：本体と共用

- ・ここに記載のデータはすべて当社試験基準により
ます。
- ・都合により製品の仕様および外観の一部を予告な
く変更することがあります。



アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

■カメラ相談室(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京・〒108 東京都港区三田 3-11-28

☎(03) 455-9353

■サービスセンター(修理サービスご相談窓口)

札幌・〒060 札幌市中央区北三条西 4-1 (第一生命ビル 4階) ☎(011) 241-0460

仙台・〒980 仙台市青葉区一番町 1-1-30 (やまと生命ビル 2階) ☎(022) 266-9851

新潟・〒950 新潟市紫竹山 1-10-26 ☎(025) 243-2111

銀座・〒104 東京都中央区銀座 5-9-9 ☎(03) 573-7834

新宿・〒163 東京都新宿区西新宿 2-6-1 (住友三角ビル地下1階) ☎(03) 348-4725

横浜・〒221 横浜市西区北幸 2-6-26 (H1横浜ビル) ☎(045) 312-0211

大宮・〒330 大宮市大成町 2-273 ☎(0486) 66-3930

静岡・〒420 静岡市常盤町 2-13-1 (住友生命静岡常盤町ビル) ☎(0542) 55-2241

名古屋・〒450 名古屋市中村区名駅 3-21-7 (三交ビル 1階) ☎(052) 563-6822

金沢・〒921 金沢市玉鉾 2-266 ☎(0762) 91-1215

京都・〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野の町513 (京都第一生命泉屋ビル) ☎(075) 255-5953

梅田・〒530 大阪市北区中崎西 2-4-12 (梅田センタービル) ☎(06) 373-8181

中之島・〒530 大阪市北区中之島 3-2-18 (住友中之島ビル 1階) ☎(06) 444-0520

神戸・〒651 神戸市中央区雲井通り 4-2-2 (神戸いすゞリクルートビル 8階) ☎(078) 291-0535

広島・〒730 広島市中区大手町 3-7-5 (広島パークビル) ☎(082) 240-6712

高松・〒760 高松市紺屋町 9-6 (高松大同生命ビル 6階) ☎(0878) 23-4681

福岡・〒812 福岡市博多区美野島 1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル 3階) ☎(092) 411-4173

沖縄・〒902 沖縄市安里 102 (日本生命安里ビル) ☎(0988) 67-2104

■カメラ技術センター(修理サービスご相談窓口)

東京・〒140 東京都品川区東品川 1-2-5 (東信天王洲ビル 5階) ☎(03) 450-2731

大阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央 2-5-3 (大阪研修センター 1階) ☎(06) 941-1076

■営業所

大分・〒870 大分市城崎町 1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975) 37-4117

■休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日、祝日)その他(土・日曜日、祝日)